

JTA、貨物・郵便の月間輸送記録を更新！

2004年7月速報値

2004年8月6日

第04028号

日本トランスオーシャン航空（JTA、本社 那覇市、社長 市ノ澤武士）の2004年7月貨物・郵便輸送実績（速報値）は、合計3,131 t（前年同月比9.4%増）となり、初めて月間3,000 tを突破し、昨年7月以来1年ぶりに月間輸送記録を更新いたしました。

パイン、マンゴーなどの果実類を扱う「ゆうパック」や宅配便が大きく伸びたほか、水産物、野菜類等も好調に推移したことが要因です。

このうち、7月に出荷のピークを迎える果実類については、昨年に続き台風の影響が少なく全体の生産量が伸びたことに加え、特に八重山地区（石垣空港所在地）においては、生産農家や郵便局、貨物代理店などとの連携を強化し、各便の搭載可能量に応じたきめ細かな出荷量調整や空港搬入時刻調整を実施していただきました。

また、当社においても石垣発那覇行きが増便（毎日2便増、7月前半）や前夜搬入の受付、宮古空港を経由させる「継ぎ越し輸送」実施などの特別体制を敷いたことにより、円滑な輸送を継続することができ、結果的に今回の高記録へとつながりました。

JTAは、これからも地域に根ざし、地域経済の発展に貢献できるよう取り組んで参ります。

今回達成した輸送記録の概要は以下のとおりです。

< JTA月間貨物・郵便輸送記録 >

順位	月間貨物・郵便重量	達成年月	備考
1	3,131 t	2004年 7月	今回記録、前年同月比9.4%増
2	2,861 t	2003年 7月	
3	2,626 t	2001年 12月	
4	2,610 t	2001年 7月	
5	2,603 t	2003年 12月	

（ご参考）当社の貨物・郵便は例年、お中元などの宅配便、ゆうパックや熱帯果実類の本土向け出荷が集中する7月と、お歳暮などの宅配便、ゆうパックが集中する年末（12月）に増える傾向があります。

以 上